神事役前等の状況

※ ×は不在を示す。着色の6名が役前

役名など	役の詳細	令和5年度	令和6年度	令和7年度	備考
一の當屋	4月7日の籤より翌年4月8日直会までの1年間 大御前(ミホツヒメ)に仕え、青柴垣では神憑りとなる	×(仮)	×(仮)	×	
二の當屋	4月7日の籤より翌年4月8日直会までの1年間 二の御前(コトシロヌシ)に仕え、青柴垣では神憑りとなる	×(仮)	×(仮)	×	
じゆんがん 準官	當屋経験者				令和4年は41名、平成11年は80名
まろうどう 客人當	4月8日の籤で決まる 客人社(オオクニヌシ)に仕え、青柴垣では當屋補佐(一の當の脇當屋)準官から籤で選ばれる、客人社の管理(畳・幟・幕の保管、清掃)や客人社祭の準備を行う	○	×(仮)	×	
きゅうばん 休番	客人當を終えて1年目 青柴垣神事では面役(猿田彦命)を務める	○	○	×	
じょうせききゅうばん 上席休番	客人當を終えて2年目 青柴垣では當屋補佐(二の當の脇當屋)	○	○	○	
とうじん 頭人 ねんかんぬし (1年神主)	4月11日より1年間、二の御前(コトシロヌシ)に仕える 秘法を伝授され、神託神示を受けることができる 頭人宮での祈禱を行う 日参(若宮社、二の御前、頭人宮)	○	○	○	
じょうがん 上官	頭人の経験者				令和4年は33名、平成11年は30名
前頭人	めんやくうずめみこと 青柴垣神事では面役(鉦女命)を務める	○	○	○	
世話人	上官の資格のあるもの	○	○	○	
おんど 小忌人	当屋の妻、妻帯者でない時は小学生女兒が務める	×	○	未定	
ささら 偏木	町内の小学生男児、行列先頭部でお祓いをし、「天鳥」という独特の所作 当日のトーマー	×	○	未定	
でんがく 田楽	田楽を舞う巫女のこと	○	○	未定	神社巫女
ともど 供人	御供の人 7-10才くらいの少女	×	○	未定	
たっしや 當為知	御船から出てきた小忌人を担ぐ	×	○	未定	
綱調べ	御船の総指揮者	×	×	未定	船を綱でひくため、経験が必要
みふねばん 御船番	御船の番人、御船神事では當屋と一緒に御船に乗り込む、	×	○	未定	
ごへいばん 御幣番	御船神事では當屋と一緒に御船に乗り込む	×	○	未定	
けいご しし そりょう 警固・獅子・総領	行列の警備をする、当日のトーマーを行う	×	○	未定	
たいこ ばん 太鼓番	下船の行列で太鼓を持つ人と叩く人	×	○	未定	
ぼうばな 棒花	小忌人の傍につく	×	○	未定	
付添婦人	小忌人の傍につく	×	○	未定	